

第1634号 2023年4月20日

☆帝国主義国、植民地従属国、「労働者国家」
の階級闘争を
世界プロ獨一世界共産主義の勝利へ！
共産主義者同盟（統一委員会）

单发方策

発行所 戦旗社
編集発行人 鹿島 昇
東京都足立区綾瀬7-2-11
電話 03 (6876) 6136
郵便振替 00180-4-176133
<http://www.bund21.org>
今号 6 頁 200 円
年間購読料（送料共）
開封 6,300 円 密封 7,000 円

3面：G7広島サミット粉碎！
日米韓の核共有体制と日帝の核武装を許さない
米帝一バイデン政権は核兵器を廢絶し
被爆者・被爆二世・三世に謝罪と賠償を
被爆二世解放委員会

4面：第二の沖縄戦を許さない！
アジア人民連帯・反帝国主義を掲げた
沖縄解放闘争の新たな闘いを構築しよう
改憲・大軍拡に突き進む岸田政権打倒
沖縄解放委員会（準）

G7サミットは全世界の大規模な抗議行動に直面してきました。昨年のエルマウ・サミット(於ドイツ)においても、歐州諸国からの参加者を中心に大規模な闘争が組織された。われわれ自身もまた、過去に日本で開催されたG7サミットに対する抗議闘争に決起してきました。

世界の富を独占する少數の大団の支配階級を代表する首脳たちが、その内部の利害を調整しつつ、いかにその帝国主義的世界支配秩

ソ連・東欧スターリン主義の世界支配の背景にしたG7発足の経緯はそのことをよく示している。この性格であった（第一回は六ヶ国で開催）。金・ドル兌換の停止によるそれまでの国際通貨体制（ブレトン・ウッズ体制）の瓦解、それに加えた石油危機による七四年恐慌の勃発、ベトナム侵略戦争における米帝の最終的敗北など、帝国主義の世界支配の危機・動揺をもたらしてしまった。今日、資本主義の世界を席巻し、地球規模の貧困と格差、搾取と剥削が加速的に拡大する時にそれは、アフガニスタン侵略戦争をはじめとする「対テロ」戦争の一時もあった。二〇一四年一二月、中国によるクリエイティブ・コモンズの著作権規約（CC）によってロシアは再びG7となるが、自由主義政策と侵略戦争を基調とする帝国主義の世界支配のあり方をも変わっていない。

サミットの性格

花當正、花當各國の性格の強さは、岸田のうじと云ふ。

による世界の軍事支配の強化をいさざかも免罪するものではない。これらは、國主義諸国による歴史的、数々の侵略戦争と戦争犯罪、今日における軍事的強化策動を徹底的に断罪なくてはならない。

は第二
帝国主義諸国
するものである
G7首脳会議
は、中国や共和国
既存の国際秩序
のとして非難し
かし、戦争危機
ジア太
危機を煽り立て
トランプ帝
転覆に
する帝國主義
するものである
は、中国や共和
既存の国際秩序
のとして非難し
かし、戦争危機
ジア太
危機を煽り立て

。假から批力
はじめとする
の支配階級
帝国の動きを
を脅かすも
している。し
軍事衝突の
てているのは

原発の新增設と建て替えを口実にして、原進政策に明確に舵を切る。福島原発事故による稼働の推進、運転期間長をおし進めていく。福島原発事故

被爆地でのG7開催許すな！

太平洋における軍事緊張を拡大し、戦争危機を煽り立てるものである。

米日欧帝国主義の東アジアにおける軍事展開、この地域における集団的な安全保障体制の構築に向けた動きがこのかん急速に拡大していく。自衛隊の敵基地攻撃能力の保有による日米軍事同盟の画段階的強化、米英豪盟による新たな安保枠組みAUKUSの形成、日米豪印戦略対話（クアッド）などは、中国への軍事的包囲を目的としたものである。アジア太平洋における合同軍事演習が広大く、(次州者国周辺)のように岸田政権

「既存の国際秩序」とは、帝国主義の世界支配体制を意味している。われわれは中国や共和国に対する排外主義煽動を打ち破り、帝国主義の世界支配体制の打破こそを問題にし、その東アジア・アジア太平洋における軍事支配の強化策動を粉砕していくかなくてはならないのである。

琉球弧の軍事要塞化粉碎！ 5・15沖縄解放闘争に起て

3・26 三里塚

市東さんの農地強奪弾劾！ 空港機能強化粉碎 騒音拡大許すな

芝山現地闘争に二二〇名

三月二六日午後、三里塚

芝山連合港反対同盟主催

の「空港機能強化粉碎 騒

音拡大許すな！ 芝山現地

集会」が取り組まれ、三三〇

名が参加した。

午後一時三〇分から、芝

山文化センターにおいて集

会がはじまった。第一部は

「強制執行との闘い」とし

て、二月一五・一六日の、市

東さんの農地の強制執行実

力阻止闘争のDVDが上映

された。一五日午後八時に、

だまし討ちで行われた強制

執行に対して、反対同盟を

先頭に、一〇〇名の仲間が

体を張って闘い抜いた、臨

場感ある映像に参加者は大

きな拍手を送った。

反対同盟・伊藤信晴さん

の司会で集会が開かれた。

はじめに、三月一〇日に逝

た。つづけて、「市東さんの

機能強化を粉碎するために

くことができた」と、強制執

行阻止決戦を勝利的に締括

した。その上で、今後は耕作

家権力を前に絶対にひるま

ない、逮捕を恐れず闘い抜

くことができた」と、強制執

行阻止決戦を勝利的に締括

した。その上で、今後は耕作

家権力を前に絶対にひるま</

アジア人民連帯・反帝国際主義を掲げた 第一の沖縄戦を許すな!

沖縄解放闘争の新たなる闘いを構築しよう

改憲・大軍拡に突き進む岸田政権打倒

沖縄解放委員会（準）

日帝一岸田自公政権は、昨年一月のロシアによるウクライナ侵略戦争を契機に、ロシア＝中国脅威論の下、「台湾有事は日本有事」論で、人民の戦争不安を煽り立ててきた。昨年二月に閣議決定した「安保三文書」（国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画）こそ戦争宣言だ。「国家としての力の発揮は国民の決意から始まる」、「国民が、自發的かつ主体的に参画できる」と戦争への「決意」をあからさまに迫っているではないか。

その転換点は、安倍政権下での集團的自衛権行使を軸とする戦争法＝安保法制の強行成立だった。そして今日、『専守防衛』の名分すらかななり捨て敵基地攻撃能力（反撃能力）保有でのスタンド・オフ・ミサイル（敵の射程圏外から攻撃できる中距離ミサイル）配備－巡航ミサイル・トマホークの四〇〇発購入をはじめ、軍事費のGDP比2%・五年間で四三兆円という大幅な軍事費拡大へと突き進んでいる。くわえて、米軍「統合防空ミサイル防衛（IAMD）」との一体化、日本全土の戦場化・核兵器攻撃を想定した自衛隊基地全国二八三基地の「強制化」計画（司令部等の地下化、施設の構造強化、大型ミサイル火薬庫建設等）にも五年間で四兆円を投入するといふことでもない内容だ。

中でも、沖縄・琉球弧への自衛隊基地新設攻撃が集中的に強行されている。ミサイル基地化・日米共同反革命前線基地化攻撃に対して、「再び沖縄戦を繰り返さない」を合い言葉に琉球弧に連なる島々から反撃の決起をさらに拡大し、日帝一岸田打倒の導火線としよう。

さらに大増税・生活破壊への怒りも大きい。何と、東日本大震災復興特別税の流用と徵税期間の延長での財源確保も策動している。アベノミクス異次元の金融緩和政策で生み出された円安・物価高騰を放置し、年金・医療・介護制度の改悪、マイナンバー強制での人民監視・管理を推し進めている。また、原発再稼働や運転期間延長、日本学術会議拒否・学術会議法改悪にみられる軍産学複合一体化の促進、さらには「緊急事態条項」－憲法改悪策動にも踏み込んでいる。

今こそ、「帝国主義戦争を内乱へ」と訴えたレーニン主義、プロレタリア国際主義、革命的祖国敗北主義の階級的立場に立脚し、日帝打倒へ総決起をかちとろう！ 日帝の侵略反革命戦争突撃の「最前線」たる沖縄・琉球弧で再び沖縄戦の惨劇を許してはならない。帝国主義反革命会議・G7広島サミット粉碎闘争・運動し、日米共同反革命前線基地化阻止！ 沖縄差別軍事支配打破！ 安保粉碎－沖縄解放－日帝打倒・米帝放逐！ の革命的路線の下、沖縄一本土を貫く5・15沖縄解放闘争の大爆発をかちとろう！ 岸田の大軍拡・戦争攻撃を粉碎しよう！

軍事要塞化を打ち碎こう

沖縄・琉球弧の

軍事要塞化を打ち碎こう

自衛隊基地の増強
ミサイル基地化を
許さない

今日、日帝一岸田は「安全

保障環境の変化」「台湾有事」での戦争危機を煽り立

た二〇一二年九月の日帝一

野田民主党政権による釣魚

石原慎太郎（当時東京都知

事）による買収策動を受け

た二〇一六年三月、台湾と

接している与那国島で、一

九年三月には奄美島へ

地増強は、まさしく

15

てているが、転機となったのは右翼民族排外主義者の発等……、こうして侵略反

革命戦争突撃への準備は図

られてきたのだ。

た二〇一二年九月の日帝一

南西諸島の防衛力の空

白地帯解消」を理由とする

二〇一六年三月、台湾と

接している与那国島で、一

九年三月には奄美島へ

地増強は、まさしく

15

侵攻車を空輸し、公道を走行して与那国駐屯地へ

た。また与那国島では、空自

C2輸送機で陸自一六式機

動戦闘車を空輸し、公道を

走行して与那国駐屯地へ

た。また与那国島では、空自

C2輸送機で陸自一六式機

3・21 東京 さようなら原発全国集会 代々木公園に四七〇〇名結集



「岸田政権の原発回帰反対！」を訴え、渋谷をデモ行進（3月21日 東京）



関電包囲行動後、リレーデモに出発（3月21日 大阪）

3・18 山口 上関原発を建てさせない山口大集会 2023 福島を忘れない さようなら上関原発

3月18日、維新公園野外音楽堂で、四年ぶりの集会が開かれ、県内外から、上関原発の白紙撤回を求める人々と共同代表を務めた那須

集会ではまず、震災被害

者と共同代表を務めた那須

た。

主催者あいさつで、中国電力が「上関

原発を建てさせない」祝島民の会」を提訴したことについての報告があった。中

村弁護士は「なぜ中電に

妨害するなどと言われるの

か。邪魔しているのは中電

の方だ。海上ボーリング調

査を今やる必要はない」、

とを指し、その問題点を指

摘した。

事前に集会参加者に配布

されたいた「放射能汚染水

の老朽原発四〇年廃炉訴訟

市民の会、東海第二原発の

命を無視した再稼働推進が

強行されようとしているこ

とにに対する怒りが表明され

た。

原子力資料情報室事務局

長の松久保肇さんは、GX

（グリーントランプスフォー

メーション）推進法案には、

原発の再稼働、原発の運転

期間の延長、次世代革新炉

による原発の新增設や建て

替えなどが含まれているこ

とを指し、「岸田政権の原発回帰反対！」を訴えた。

その後、集会参加者は没

心となって進められている

福島連帯キャラバンの参加

者が発言した。

脱原発首長会議の元河西

市長の三上元さん、柏崎刈

水を海洋放出しようとして

いることに対して、その危

険性と理不尽さが訴えられ

た。避難の協同センター代

表世話人」の熊本美穂子さ

んは、福島県田村市にある

自宅が放射能で汚染されて

いる。「放射線量が下がった

と言われているが、現在で

二〇ミリシーベルトはある

避難を打ち切られ、帰還

を強制されるのは、被曝を

強制されることだ」と断じ、

住民の人権を守る法制度が

行われた。

主催者あいさつで、呼び

かけ人の鎌田慧さん、澤地

久枝さん、落合恵子さんが

立った。それだが、岸田政

権の進める原発回帰政策の

批判し、「原子力は未来を潰

す」と代読し、裁判への注目と

主催者あいさつで、次つを行つた。

二号機の再稼働を画策して

「老朽原

電力本店前から福井県若狭

の高浜原発まで約三〇キ

ロをつなぎリレーデモを行

った。その出発日にあたる

3月21日には関電包囲集

行われた。

関西電力が四〇年超え老

朽原発である高浜原発一、

二号機の再稼働を画策して

「老朽原

電力本店前から福井県若狭

の高浜原発まで約三〇キ

ロをつなぎリレーデモを行

った。その出発日にあたる

3月21日には関電包囲集

行われた。

関電は老朽原発をうごかすな

3・21 関電包囲集会

会場には福井県の美浜

会が行われ、三八〇人が結

集した。

主催者あいさつを行つた。

木原壯林さんは、電力資本

の利害を背景にして原発推

進に突き進む岸田政権を弾

劾し、「トラブル続きの高浜

原発一、二号機の再稼働を

阻止し、それを突破口に全

原発の廃炉への大きなうね

りをつくりだそう」と訴え

た。

中電を弾劾した。

トーキー＆アピールでは、

アウトドアガイド原さん、

アーサー・ビナードさんが

進行役、祝島の四人の青年

が祝島愛を語った。それぞ

れが、「上関で生活すること

が、原発に反対することに

通つて若狭に向かい、四月

二日には高浜原発のゲート

前で抗議行動を行う。

リレーデモは沿線の地方

自治体への申し入れなどを

行いながら、琵琶湖東岸を

通つて若狭に向かい、四月

二日には高浜原発のゲート

前で抗議行動を行う。

リレーデモは沿線の地方

自治体への申し入れなどを

行い